

# 21年度予算案 過去最大106兆円超



—藤井太郎撮影

## 立憲代表代行 蓮舫氏

国会では、放送事業会社に勤める菅義偉首相の長男による総務省幹部への接待問題など、政府・与党のスキヤンダルに注目が集まり、2021年度予算案の審議にも影響を及ぼした。その規模は過去最大の106兆円超という巨大予算。長引く新型コロナウイルスの感染対策の名の下、財政規律は緩みがちなのだ。本当に無駄なお金の使い方はないのか、そこで「仕分けの女王」立憲民主党の蓮舫代表代行(53)と共に点検してみた。

「『(世界)2位じゃだめなんですか』はいまだにメディアで流れますからね。短いフレーズで使い勝手がいいんですよ。参院議員会館の事務所を訪れると、蓮舫さんはそう苦笑いした。旧民主党政権が始めた「事業仕分け」。09年11月、仕分け人だった蓮舫さんはスーパーコンピュータ開発計画について、官僚らに「世界一が必要な理由」を問いかけた。舌鋒鋭く追及するその姿は、繰り返しテレビで報道され、「言い方がきつい」などの声はあったものの、予算執行への関心や透明性を高めるのに一役買ったのだ。それでは、20年度補正予算や21年度予算案の問題点は何か。「5兆円という巨額の予備費は、政府が自由に使えるお財布になっっています」ということか。21年度予算案では、コロナ対策として5兆円の予備費が組み込まれている。特定の政策などに対し

れんほう 1967年東京都生まれ。青山学院大卒。タレント、キャスターなどを経て2004年7月、参院選東京選挙区で初当選し、3期目。旧民主党政権下で行政刷新担当相、民進党代表などを経て、現職。

# コロナ予備費 説明怠るな

予算書を見ても、コロナ予備費の他にどれくらいの金額のコロナ予算が計上されているのか、よく分からないのだ。立憲の枝野幸男代表は2月4日の衆院予算委員会ですべての点を追及した。コロナに関連し「21年度予算案で、医療や生活困窮者向け、事業継続などにどれくらい計上しているか」と質問。答弁に立った麻生太郎財務相は最後まで金額に触れることはなかった。「コロナの場合は複数の省庁にまたがって予算が付いているので、非常に分かりづらくなっており、実際に予算が適切に執行されたのか、後で検証するの難しい」と、蓮舫さん。では、どうしたらいいのだろうか。危機管理監(仮称)を作って、コロナ予算を一元管理するのも一案です。そうすることで国民は税金の使い方が適切だったかどうか確認することが出来ます。また「アベノマスク」のようなことはあってはならないのだ。

蓮舫さん あなたは首相としての自覚や責任感、それを言葉で伝えようとする思いがあるんですか。菅首相 少し失礼ではないでしょうか。私は昨年9月16日に首相に就任してから、このコロナ対策、一日も早い安心を日本に取り戻したい、そういう思いで全力で取り組んできたんです。(中略)言葉が通じる通り

「言い方がきつい、首相をいじめていると国民に捉えられたのではあれば、それは私の不徳の致すところですよ」と、神妙な表情を浮かべる。一方で菅首相の答弁について、「評する。政治はやはり熱伝達だと思えますが、菅さんにはそれが感じられません。熱のこもった質問に熱い答弁で向き合うのが本気の予算案でのぶつかり合いです。それを『失礼ではないか』と切り返されてしまうと、『ごめんなさい』で終わってしまう」意外なことに、蓮舫さんは安倍首相の答弁について、一定の評価をするのだ。「安倍さんは長くても悪くも熱が感じられなかった。政策として正しいかは別にして、アベノミクスをやれば経済が良くなると本気で信じていた。熱があったからこそ、支持も反発も大きく広がりました。鋭い質問で、ときに安倍前首相が声を荒らげて反論する状況に追い込んだ論客の蓮舫さんにとって、現首相との論戦は丁々発止のやり取りに至らず、いささか不満があるようだ。

「コロナ禍で膨れ上がる菅政権最初の本格予算。感染対策や経済支援を求める声に押され、財政健全化は後回しにされがちである。新年度予算案の一般会計総額は9年連続過去最大の106兆6097億円。コロナの影響により歳出は増える一方、経済活動の停滞で徴収は落ち込

む。国の借金である国債の新規発行額は43兆円を超え、歳入の4割は借金頼みの予算編成なのだ。どうやって国民の命を守っていくのか、仕事と生活を守っていくのか。そのために財政支出に頼るしかない」と、私たちの党も思っています。(収入と支出が等しい) 均衡予算が望ましいのですが、政府・与党、野党も答えがないのが現状です。かといって無制限に予備費や財政支出を認めていいとは思っていません。仕分けの女王も、解決策を見いだせないというのが率直なところである。だが、「本当に今なの？」と疑わしい歳出もあるという。例えば、1月28日に成立した20年度第3次補正予算では、脱炭素化に向けて企業を支援する基金創設に2兆円、「GOTOトラベル」を6月末までに延長する費用として1兆円などが盛り込まれた。「憲法では国家予算は単年度主義と考えるのが通例です。さらに、財政法では補正予算というものは緊要な経費のために編成するもの。年度をまたぐであろう基金の創設や『GOTOトラベル』は今、本当に必要なものなのでしょうか」菅首相肝煎りの「GOTOトラベル」や、国会の施政方針演説でも触れたカーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量実質ゼロ)を後押しする政策には「巨額予算が付いているのだ。確かに地球温暖化対策は重要だが、補正予算で基金を創設する類のものなのか。100兆円単位の予算を目前にすると、1兆2兆円は大きな額ではないと感じるのだから。一方で、財務省によると、国の借金総額は21年3月末で約1292兆円に達する見込みだ。国民1人当たりの借金は1000万円を突破する。菅首相は施政方針演説の最後で「未来への希望を切り開く」と触れた。コロナ禍とはいえ、このような金銭感覚の永田町・霞が関の住人に、未来を託して本当に大丈夫だろうか。【葛西大博】

参院予算委員会で立憲民主党の蓮舫代表代行(手前右)の質問に答える菅義偉首相(左)＝国会で1月27日、竹内将輝撮影